

セミナー予告 島田等「知識人の〈らい〉参加」をめぐって

図書資料部会はこれまで2回、多磨全生園でセミナーを開催しましたが、第3回目は会場を京都に移して下記の要領で行います。

テーマ 島田等「知識人の〈らい〉参加」をめぐって
日時 2009年3月21日12時～22日12時まで
場所 京都・京大会館（075-751-8311）
基調講演 鶴見俊輔
講師 森幹郎（交渉中）その他。

今回は、島田さんの連続エッセイ「知識人の〈らい〉参加」にテーマを借りて、森幹郎、永丘智郎、神谷美恵子、杉村春三らとのハンセン病との関わり、「らいはアジアを結ぶ」といった大江満雄、「らいと朝鮮という二つの中心を持つ楕円が、ようやく自分の中でひとつになった」といった村松武司。あるいは良心的兵役拒否を貫いたのち星塚の職員になったインガオサム、東大総長矢内原忠雄と井藤道子といった人々の実践からなにを学ぶか、一緒に考えてみようではありませんか。

テーマと基調講演が決まっただけで準備はこれから。企画段階からの参加を呼びかけます。

.....
ちかく、第1回目の準備会を開きたいと思います。

準備会にご参加いただける方、セミナーにご関心をお持ちの方、今後ご案内を差し上げますので下記に連絡先をご記入の上、メールでご連絡ください。（fuji@libro-koseisha.co.jp）

【お名前】

【ご住所】

【お電話・Eメール】

【ご意見】

[BBS]http://www.tenro.net/lib_hansen/bbs_friend/light.cgi